

新藤信夫市政ニュース

平成18年7月
Vol.7
発行:自民党さいたま市議会議員大宮区西支部
TEL 647-7713
FAX 647-7726



あいさつ

新藤信夫

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より議員活動に温かなご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。皆様から応援をいただき、初当選させて頂いてから議員生活も4年目を迎える皆様からお寄せ頂くご期待とご要望に誠心誠意お答えすべく、毎日が新たな日であるという気持ちで、日々の課題に取り組みしております。

私は今年度、環境経済委員会の副委員長に就任し、6月7日から始まった定例議会を乗り切つてまいりましたが、今回の就任でたいへんうれしかったのは、議会開会直後の6月24日(土)、25日(日)に開催されたアジア太平洋環境会議(エコアジア2006)に副委員長として出席し、久々の国際会議の緊張感を味わったことと、環境の大事さを再認識させられたことです。

今や環境問題は、地球レベルの課題として全世界が目を覚まして取り組み始めています。今回、さいたま市内(浦和ロイヤルパインズホテル)で行われた「第14回アジア太平洋環境会議」は、さいたま市にとって初めての国際会議で、アジア太平洋地域22カ国の環境大臣らと11の国際機関の代表が参加し、環境省とさいたま市の共催で開催されました。会議の冒頭、小池百合子環境大臣は、ノーベル平和賞受賞者でありケニア副環境相のワンガリ・マタイさんが推進する「MOTUNAI」キャンペーンを日本の取り組みとして紹介すると共に、クールビズは経済を活性化しながら、エネルギー消費を削減できることなどについて話されました。引き続き会議に入り、持続可能な社会実現をメインテーマに参加国等との間で意見が交わされ、二日目の会議において「地球温暖化による気



アジア環境会議環境省主催レセプションにて、向って左は小池百合子環境大臣

候変動は潜在的な時限爆弾」との危機意識で一致したほか、水資源を巡る状況や取り組み、経済発展との両立などの課題を浮き彫りにして閉幕しました。

このような国際会議に出席して痛感することは、日本はたいへん恵まれた環境の中にある国であること、市民一人一人の小さな取り組みがまとまれば大きな効果になることです。

これからも、誰もが住み続けたいまちづくりに向けて、さいたま市の環境がより充実したものとなるよう皆様の要望に応えてまいります。

大宮区内で行われる主な事業の概要(平成18年度予算額)

事業名	場所	事業費	事業概要
鉄道博物館整備事業	ニューシャトル大成駅隣接地	総事業費 約123億円 18年度予算 629,754千円	敷地面積 約42,500㎡ 大成駅のバリアフリー化に対応する設備改修も行う。
セントラルパーク(合併記念見沼公園)整備事業	防災センター南側(大宮区天沼町)	整備工事等 182,300千円 実施設計・給水負担金等 31,050千円	公園面積 約3.9ha テーマ「見沼田圃に暮る生き物たちとのふれあいと新しい市民交流の創造」
大宮公園サッカー場整備事業	大宮公園内(大宮区高島町4丁目)	本体工事 3,164,000千円 監理委託 82,000千円	審判、約12,500席を約15,500席に増設
水川参道整備推進事業	一の鳥居から南大通東線までの間	18年度予算 103,213千円	一の鳥居から南大通東線までの380mを一方通行にするとともに一の鳥居に隣接する用地をエントランス空間(仮称一の鳥居広場)の整備。
大宮駅東口都市再生プラン推進事業	大宮駅東口周辺地区	18年度予算 12,704千円	4つの都市再生区(大宮中央通線、水川参道西線、水川参道、中仙道)、3つの都市再生整備(駅前周辺地区、大宮区役所周辺地区、市民会館周辺)等のプロジェクトを位置づけている。
中仙道の電線類地中化事業	大宮区仲町地内の中仙道		中仙道の歩行空間の確保や景観の向上を図るため、電線類を地中化する。
大宮駅東口駅前広場現況整備事業	大宮駅東口駅前広場		交通バリアフリー法などを踏まえた歩行空間を形成する。
大宮駅西口都市改造(第四地区土地整理)事業	大宮駅西口(桜木1丁目、線町地域内)	総事業費 19,070,000千円 18年度予算分 393,996千円	陸行地区面積を9.68ha、計画人口は昼間19,000人、夜間1,000人を想定。道路築造は約3,200mを計画
大門・浅間6号新線下水道築造事業	大宮駅前～区役所前～大宮駅前～浅間交差点まで		地下約15mを1,840mに渡って圧入式シールド工法により新設。内径3m、貯留量12,800㎡
東北本線浦和～大宮間第二与野新道(南大通線)二道橋整備事業	古敷町地内～産業道路	18年度予算(今年度完了) 584,175千円	交通渋滞が慢性化し、市民生活にも影響を及ぼしているため現在の2車線から4車線(片側2車線)に道路の拡幅を行う。
三橋中央通線整備事業	国道17号線～新大宮バイパス	18年度予算 311,650千円	国道17号線から都市計画道路荒川左岸道路間の早期完成を図る。新大宮バイパスまでの区間についても事業化に向けて準備を進める。
大宮消防署大成出張所建設事業	大成町1-226番地(現在の場所)	建設費(18・19年度) 736,000千円 18年度予算 288,770千円	鉄筋コンクリート2階建て タンク車、ポンプ車、救急車2台等を配置。仮設庁舎は、桜木町2-524-1の一部に軽量鉄骨造1階建て
パトロール活動拠点整備事業	廃止された大成交通・公園交通		「地域防犯ステーション」とし、青色灯、ステーションの看板を設置。地元の地域防犯活動団体に無償で使用させる。
地域包括支援センターの開設	「日暮野まちづくりセンター」と「情報等総合支援センター(桜木3西)で開設		地区社協や民生・児童委員、自治会ボランティア、NPO、市民活動団体、地域住民等が協力・連携し、見守りや声かけなどや支援の必要な高齢者の早期発見を専門機関として支援する。
桜木小学校校舎改修事業	桜木町4-328-9	18年度予算基本・実施設計 37,000千円	三橋中央通線整備事業に伴って、北校舎の改修を行う。19年度 仮設校舎建設 20・21年度 解体・建設工事 22年度 供用使用
自治医科大学付属大宮医療センター増床整備事業	天沼町1-847		現行408床から608床に200増床 新棟(南館、地上7階)を建設
18年度予算合計		5,819,612千円	



水川参道一の鳥居付近



中仙道 電線地中化



大宮駅東口の現況



三橋中央通線 西大橋橋脚工事



建替えられる大宮消防署大成出張所

ケヤキの保存 署名運動実施中

三橋中央通り線整備事業

さいたま市の交通の要衝であり、また、北日本の玄関口でもある大宮駅へのアクセス道路として、また、周辺道路の渋滞が解消を目的として、さいたま市が整備を進めている三橋中央通り線は、大宮駅西口から新大宮バイパスまでの4車線化の早期に実現が期待されています。

本年1月29日の道路測量説明会で公表された道路線形を見ると、三橋2丁目821番地内(岩井鮮魚店敷地内)にあるケヤキの大木は計画道路のセンター付近に位置し、このままの計画では伐採せざるを得ない状況にあることが分かりました。

ケヤキは「県の木」であり、また、さいたま市でも「市の木」に指定していて、大宮氷川参道に古くから植えられて見事な並木を形成しており、当市の環境に合った在来種です。

地元の方々からこのケヤキを残そうという意見が持ち上がり、このケヤキの樹勢を植物の専門家に見てもらったところ、樹齢は100年を超えると推定され、幹回りは3mを超える大きさで、三橋地区には今ではもうほとんど見られない大木だと言うことが分かりました。

このようなケヤキを移植するには大きく枝払いを行うこととなり樹形も変わってしまい、また、地下の根も切り詰めることとなるため移植先の環境によっては枯れてしまうことも多く、多額の費用もかかることから、他の場所に移すことは難しいと思われています。

三橋中央通り線の設計を進めるに当り、このケヤキを現存の位置で残していただき、当道路の完成後には三橋中央通り(大宮駅西口駅前通り)を代表する街路樹として保存することを要望するため「三橋中央通りのケヤキを保存する会」を結成し、現地にて署名活動を始めました。

現地には看板(写真)と署名所が設けてありますのでお近くを通りましたら是非とも署名をお願い致します。
なお、署名は8月初旬まで受付けています。



署名を呼びかける看板設置



一般質問



平成18年6月、定例会一般質問

1 人事評価の導入について

質問

- 昨年度試行が行われた能力評価によって、どのような成果があったか、また、どのような問題点が抽出され、それに対する改善策はどのように考えているか。
- 職員アンケートの結果について
- 業績評価の導入予定はいつ頃か
- 人事評価の結果は、例えば、給与、昇格、人事配置などに活用するのか

答弁

- 職員の意識改革と能力開発を効果的に進めるうえで導入は不可欠であり、試行は一定の成果があった。評価結果が5段階評価の3番目を中心化する傾向があるため、評価基準の見直しを行う。(市長)
- 全政令市で実施又は試行を行っている。(総務局長)
- とまどいがあるものの、「部下の課題の自覚と意識の向上」「職場の風通しが良くなった。」等、人事評価制度の必要性について概ね理解が得られた。(総務局長)
- 平成19年度から本格的に導入したい。(総務局長)
- 人材育成(自己啓発、研修等)、任用管理(人事異動、昇任昇格等)、給与処遇(昇給、ボーナス等)の分野に活用する。具体的には今後検討する。(総務局長)

2 民間資金の調達について

質問

- 民間資金の拡大が予想される中、市場公債の繰入における位置づけと、中期的な発行の見直しについて。
- 共同発行参加の意義と予定について。
- ミニ公債発行について、平成15年9月議会で引き続き検討するとしているが、その後どのような検討がされたのか。
- 土地開発公社は地元の金融機関で構成する協調融資団から資金を調達しているが、金利の自由化の時代を迎えて入札方式等の導入についてお聞きします。

答弁

- 当面は、現行の年間100億円の発行を継続するが、将来は増額発行も必要と考えている。(財政局長)
- 多額の資金を効率的かつ安定的に調達できるが、総額約1兆円の連帯債務を負う課題もあり、現時点では、参加する考えはない。(財政局長)
- 入札方式の導入も含めた公社の経営健全化に向けて、積極的に指導を検討する。(財政局長)

3 市税納入方法の拡大について

質問

- 市税のコンビニエンスストア及びATMでの支払いについての効果と問題点
- 県の自動車税がコンビニエンスストアで納入できるようになったことから、早期の軽自動車税のコンビニエンスストアでの支払い導入について
- 市税のカード払いの検討結果について

答弁

- 納税の利便性向上、納期内納付の増加が期待できるが、一方、システム開発や手数料等の費用負担が生じる。(財政局長)
- 情報処理の基幹系システム改変の中で取り組む。(財政局長)
- 他市の状況等を確認しながら、詳細について検討を進める。(財政局長)

4 公立小中学校における教職員へのPCの普及について

質問

- 市が学校に設置した教職員用コンピュータの台数及び、コンピュータによる校務処理の内容について。
- コンピュータによる校務処理を行う際、児童生徒の成績処理や進路指導事務等の個人情報の管理に関する配慮、指導について。

答弁

- 各校概ね3台配備されているが、これでは不足しているため、教員の半数程度は個人用のパソコンで成績処理等を行っている。職員室のLAN整備に関しては研究を進める。(教育長)
- 校長を対象に「情報危機管理研修会」実施し、具体的に個人情報の適正な管理について指導している。(教育長)

トピックス

上小町と桜木町4丁目の境界となっている、市道40024号線(はずみそば屋~葉餅堂墓地)の舗装打替え工事が完了しました。この道路は、最近交通量も増加し、舗装のいたみも目立つようになったことから、昨年度初めより市に対して舗装の打替えを要請してまいりましたものです。



大成1丁目と桜木4丁目を繋ぐ、山崎薬局脇の道路の舗装が完了しました。この道路は、幅90cmほどで、たいへん狭いものですが、大成1丁目の方々から旧16号沿いの商店に買い物に出るときにはたいへん便利に使われています。長い間、未舗装のまま放置されており、昨年11月頃、さくら中央商店会から要望をいただきましたので、さいたま市に対し強く要請し、急いで施行を行ってまいりました。歩きやすくなりましたので、付近の皆様どうぞご利用下さい。